

令和元年度 国立保健医療科学院【短期研修】
生活習慣病対策健診・保健指導の企画・運営・評価に関する研修
(令和元年 6月3日～6日)

健診・保健指導に関する研修の企画立案・評価（演習）
グループワークの進め方

- 各班 6～7人×13グループ（グループ分けは、別紙参照）
- 以下に示すグループワーク（以下 GW）の時間数・休憩時間は、おおよその目安とし、進行はグループごとで調整。

日時・場所	内容	ねらい
【3日目】 6月5日（水） 9:20～10:20 (60分)	Ⅲ-2. 研修企画の実際 およびオリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> - 地域と対象者のニーズに基づく研修計画を作成することの必要性を説明できる。 - 研修のデザイン（企画、実施（方法論を含む）、評価の一連のサイクル）について説明できる。 - 演習様式の記載方法について理解できる。 - 演習の進め方について理解できる。
10:20～12:20 各会場 (140分)	GW①人材育成上の課題の明確化（様式1）、年間研修計画の立案（様式2） <ul style="list-style-type: none"> - 自己紹介と様式1、2の記載内容の共有。 - 1人20分程度（発表と質疑応答・意見交換を含む）で全員発表する（様式1、2を続けて発表。個人単位、ただし同一都道府県が続く場合は、重複箇所を避けて発表。様式1と2で事業評価に関する課題や研修計画がある場合には様式4にも言及する。）。 	<ul style="list-style-type: none"> - 研修立案に向け、地域のニーズを分析できる（人材育成上の課題の明確化ができる）。 - ニーズに基づく、対象者の選定、必要となる能力の分析、それを強化するための研修企画ができる。
12:20～13:20 (60分)	- 昼休憩	
13:20～14:20 (60分)	(午前中の続き)	
14:20～14:50 (30分)	- 様式1、2の記載内容（対象者分析と研修テーマ）について、GW①の結果を踏まえて、各自改訂する（手書き）	- 他の受講生との意見交換を踏まえて、事前課題（様式1、2）をブラッシュアップすることができる。

14:50~15:00 (10分)	- 休憩	-
15:00~16:30 (90分)	<p>- グループ単位で、個別研修の共通テーマ(研修目的)を2つ選択。 このとき、①保健指導に関わる専門職種向けの実務に関するテーマと②特定健診・特定保健指導のPDCA サイクルを展開するための事業評価等に関するテーマを設定する。</p> <p>GW②詳細研修計画の立案</p> <p>- グループ単位で、様式3(個別研修計画)に取り組む(各グループにPCとプロジェクターを貸出し。遠隔システムから様式3をダウンロード・入力していく)</p> <p>- モデル(たたき台)になりそうな受講生の事前課題の内容を活用することも可。</p> <p>- 事業評価等をテーマとする研修については様式4も踏まえて計画を立案する。</p>	<p>- グループ単位で、研修テーマを選定できる。</p> <p>- 対象者のニーズに合わせた研修目的、目標の明確化ができる。</p>
【4日目】 6月6日(木) 9:20~14:30 各会場	<p>GW②詳細研修計画の立案(続き)</p> <p>- グループ単位で、様式3(個別研修計画2テーマ)を完成させる。</p>	<p>- 対象者のニーズに合った適切な方法論を選定できる。</p> <p>- 評価計画(評価指標、方法)を策定できる。</p>
14:30~15:30 (60分) 各会場	<p>担当グループ合同発表会</p> <p>- ファシリテータが担当する複数のグループ単位(3~4G合同)で、様式3の内容について簡潔に発表する。</p> <p>- 発表はプロジェクターに投影して行う。</p>	<p>- グループワークの成果をもとに、職場に戻った後に、自身の計画をどのように改善できるかを説明できる</p> <p>- グループ単位で、様式3を提出する(遠隔システムの指定場所に提出する)</p>